十一月一日 夕刊

本日日曜祭日 一ヶ月二十五錢 郵税十五錢 一部二錢 廣告料 一行四十錢 場所指定 二倍 發行兼編輯印刷人 中谷政喜 發行所 福島縣平町大町二三 新いわき新聞社

常識講座

第三帝國とは人間の生活に對して三段に分けた來るべき帝國、第一の帝國は肉の帝國であり第二の帝國は靈の帝國であつたが第三に來たるべき帝國は靈肉一致の帝國であるとの説である

同情される三坂村 九年に四回の不作

殊に今年は一層の慘めさ 全村平均して三分五厘作

石城郡三坂村に於ける水田の凶作は同村二百余町歩の耕作面積を平均して同地平年作一反歩一石六斗に對し三分五厘の收穫に止まり最も悲慘なものは上三坂及び差鹽の二分作比較的良好な下三坂と中三坂に於て四分作位と云はれてゐる被害の原因は早冷と潴水の灌漑であるが尚ほ一つ事實として見逃す事の出來ないものは縣の奬勵品種陸羽一三二號とか愛國二〇號及び關山の類が山間地に向くことを會得されない結果の災ひは前記中下三坂に同種を撰まれた成績に徵し縣撰品種の權威を明らかにされ品種の改良研究が重要な問題であることを覺られてゐるが同村の不作は昭和に入りて同三年並に四年次へで六年に今年の四回を見せつけられ就中本年は一層の悲慘に惱んでゐると

『キジ』山鳥には大當り 狩獵免狀の下附半減

農山村の不況を物語るもの 反對に獲物は相當に居る

去月十五日から解禁された平署管下の狩獵免狀下附は最近までに甲號一等一、乙二等四乙三等六二、甲種三等三の合計七十名で今一日から雉、山鳥も解禁される本獵期に臨みながら昨年に比較して約半數に過ぎない今年の不振は農村の不況を物語るものとされてゐる一方獲物類は天候不順であつた割合に雉、山鳥の如き相當の繁殖と云はれ筭輪、永戸方面には高野鑛泉に獵裝の疲れをぬく浴客が弗々と賑はひ初めて好獵地の物色談に花を咲かせて來たが狩獵出願に一向氣乘りの來ない現況では昨年同期に於ける免許狀甲乙を合せて百二十八名に達したものゝ約半數の現在が最後まで續くものでないかと云はれてゐる

見込み外れの ヌレ米配給

米價依然高調

石城郡からの大阪濡米拂下げ申込みは總數五千七百七十俵に達したが第二回があるかどうかは疑はれる第一回と稱する配當數量は左記の如く申込高の一割にも滿たぬ四百九十俵に農村の落膽一方ならず之れに加へて米の收穫期が遲れてゐる飯米不足に困惑し旁々一時下値向きであつた米價は高保合と云ふ情況を示してる

濡米配當入遠野一四五俵 渡邊組合一二〇俵 永戸組合一二〇俵 川前九八俵

現下の農村對策に 自發的の更生計劃

目ざめた石城上遠野村の活動 愈々踏出される初一歩

石城郡上遠野村では國縣の指定や助勢にまたず自發的に經濟更生の計畫を立つべく有志間に奔走されてゐたが昨三十一日午前十時から同村小學校に豫ねて囑託せる委員二十六名及び役場吏員米山郡駐農林技手等三十餘名を會して右に關する協議を行ひ愈々その第一步を踏み出すべく基本調査から計畫各種事業の聯絡統制村內各種團体との交涉協調、更生委員會記錄の整理、各戶に於ける計畫指導に當る總務部外左記の諸部を決して取敢へず村內各戶に基本調査表を示して各部落每に講演又は座談會を開き趣旨徹底を圖る筈で午後六時散會したが同村の目醒めた活動には一般から非常な期待をもたれてゐると

總務部長村長 主任助役 部員役場關係農會技術員各區長
生産部長農會長 主任技術員 部員實行組合幹部並に青年幹部統計調査員
經濟部長農會幹部
社會敎化部長小學校長 主任首席訓導 部員職員並に青年團幹部 神職僧侶等

青年分團驛傳繼走

選手難で見合せか 出場申込僅か二三ケ分團

平青年團に於ける年行事の一つ各分團對抗の驛傳繼走は來る三日の明治節に行はれる筈で出場選手約四十名と覇を競ふ大町分團の如きは昨年の競走に第四コースまで次位の間に約五十間を距て斷然優勢であつたものを決勝區の第五コースに至り選手の失敗から榮えある優勝旗を柳町分團のタイム十八分三十八秒九分の一に制せられ雪辱に既に定められた左記繼走區を猛練習中であつたが町內二、三の分團を除いては選手難の爲め出場不可能の故を以て本年の同競技は見合せらるものゝ如くである

繼走區出發點平署前第一コース研町公園下まで 第二白銀町松崎デパート前まで 第三鎌田町金成醫院前まで 第四月見橋まで・第五平署前決勝

林野組合長の横領 惜や時効にかゝる

だが前區長時代にも不正の疑 取調べは此方面に展開か

石城郡赤井村の第一區林野保護組合長宮內喜作(五七)に係る共有財産横領事件は既報の如く去月二十六日以來關係者を平署に召喚渡部司法主任の取調べを續行宮內組合長は留置取調べを受けてゐたが一段落がついたらしく昨三十一日午後五時頃歸宅を許された右横領の事實は去る大正十四年頃からで共額三千圓に上つてゐるが今日では時効にかゝるものが多く尚ほ宮內氏には前行政區長時代にも不正あるを疑はれ平署では此の方面に嚴重なる調査を展開されることになるであらうと

馬耕競技會へ石城から二名

縣農會と縣農事講習同窓會の聯合主催馬耕競技會は來る十日郡山市小原田に開催の筈で一郡市から五名以內の優秀技術者を撰まれてゐたが石城郡からは左記二名出場の由

平町字鎌田町高島忠吉 同吉村菊太郎

消防講習へ 鈴木部長

平消防組から

大日本消防協會主催を以て內務省警察官講習所に催される消防講習會は全國各縣から二名づゝの講習生を割當てられ來る六日から向ふ三週間の開講に對して本縣では郡山市消防組頭今泉續治氏及び平消防組第二部長鈴木長三郎氏を選まれ五日上京の筈であるが大日本消防協會代議員である平町消防組頭井上茂作氏は開所式に列席のため鈴木氏と同行する由

井上中將の講演

石城敎育部會の總集會に於て

石城郡敎育部會の總集會は來る四日午前九時から平町第一小學校講堂に於て催されるが當日は陸軍中將井上一次氏の講演があると

平署消防組頭會

平署では今一日午前十時から同署會議室に管下消防組頭會を開き秋季檢閲及び來る五日の防火運動並に大日本消防協會記念事業費百五十萬圓に對する本縣負擔の內平署關係消防組二十二組の割當て額千八百圓を消防組員で八百圓を支出する殘りの負擔を特志家の寄附にまつ計畫に關し各組の分擔額を決して正午散會した

食肉需要減 馬は增加

炭礦だけが景氣

平町の屠畜は需要期に這入つた十月の成績が割合に引立たないが仕入方面では豚は昨年に大差ないが牛は技肉相場約二割高で小賣値は賣行き不振に値上げも出來ず大体前年同樣の左記を續けてゐる食肉需要の現況は一昨年の不況時に齎しく昨年に比して二割落ちた位の消費減でないかと悲觀されてゐるが之れに反して馬肉の需要は炭礦方面の好景氣から昨年に比較せば非常な增加であると

牛ヒレ七〇錢 ロース六〇錢 上四〇錢 並三〇錢
豚ロース五〇錢 上四〇錢 中三〇錢 並二五錢

逃げた酌婦 情夫と同棲

發見して搜査願

石城郡內郷村の內町字金坂四二料理店醉月事松本すゑ方の抱酌婦安積郡喜久田村大字堀の內字堀の內在六三代喜娃木元ゆき(三五)は本年七月二十六日前借二百十八圓で同家に住込み去る八月二十二日未明家人の隙を窺ひ前借を踏倒して逃走主家に於て八方搜査中であつたがゆきは醉月方にある間互に文通してゐた東京市本所區業平橋一の三松島屋本店旅館止宿藤井學(三七)の許に行つた形跡があり最近東京市下谷區入谷町三四九上田きんなるものが兩人の姿を見止めたので東京市中に潜伏の事實があると旨を添えて今一日抱主から平署に搜索方願ひ出た

…川魚の習性と…其漁法(六)

石田磐中教諭

爾後は數尾の「はや」が時々來て遊ぶ位で産卵を致しませんから直ちに此の産卵場に修正を加へなければ役に立ちません、

話は遡りまして斯く若干の産卵を行つた魚類は又何れへか去ります、今ん度は暫らく魚族が參りませんで稍退屈を感ずる位であります、軈て二三十分も待つて居りますと大小相率ゐて數十尾の「はや」が勢よく産卵場を目がけてやつて參ります、此の魚類は週圍を一轉廻しますと忽ち盛んに産卵を始めます、之れを二番づき又はなかづき「色づき」などゝ呼びまして逐次魚体の兩側の赤色が增して參ります、大低十分か十五分位過ぎますと大部分の「はや」は又何れへか去つて仕舞ひます、此の産卵の時機に投網を使用する人が多いのでありますけれども未だ早いのであります、素人は勿論玄人でも此の時機に網を使用する人が多いやうに感じます、

過早に投網を使用すると云ふことは魚類に注意警戒力を增させる許りで其の捕獲する量は至つて少ないばかりでなく遂に魚類が産卵場に近寄らない樣になりますから注意を要するのであります、

扨てまた話を歸して先き程去つた大部分の「はや」は其後仲々參りません、早くて二十分遲ければ四、五十分も過ぎなければ參りません、此の時間が長いほど澤山の魚が來るのであります、斯して四、五十分間も待つて居りますと今度は其の附近の魚類の大部分を率ゐて大きな「はや」が先頭になつて數百尾が産卵場にやつて參ります、

産業方面

五十澤　アンポ柿に就て

（3）　伊達郡五十澤農公學校教諭　佐藤生

昭和八年十二月より九年二月に至る間の出荷總數は、一万七千餘箱、賣上高八千九百餘圓、實に現今の農業恐慌特に養蚕業未曾有の不況時に際し、農家の副業として、本村經濟史生に、重要な役割を演じつゝあるのである、

次にその沿革の概略を述べることにする、

古來本村のアムポ柿は以前より本場物と稱せられ、その風味他を凌ぎつゝあつたのであるが、その原因は原料柿の優秀なると乾燥期の天候が斯くさせたものである、原料柿の優秀は一に本村土性の然らしむる處で、山本駒雄氏は花崗岩に由來する土壤にして天然促肥素（コロイド）の存在豊富なるに依るとしてゐるのは一つの見方であらう、

從來は僅かに附近都市商人の間に取引があつたのみにて他は茶菓子代用、贈答品として用ひらるゝに止まつてゐたのである、然るに乾柿改善の必要を認めたる時の村農會長鈴木清吉氏は、大正十二年秋田村郡守山町の藤田久一郎を聘して、之れが製造の講習會を開き、村内熱心家に專ら甲州地方の製法を傳へたのであるが、動もすればその乾燥中温暖多濕なる氣候に見舞はれその腐敗落下並に柿の黑變を防止すること能はず、先進地山梨、岐阜に獨占壓倒さるゝ狀態におかれ、且つ同年の出荷は、不良問屋の犧牲となり多大の損害を被つたのであるこゝに於て出荷組合組織の必要を痛感し、引地長平、鈴木清吉、岡崎文太郎氏等の配慮により、大正十四年五十澤枯露柿生産販賣組合の結成が完成したのである、

その頃米國より歸朝の某氏が彼の地に農業勞働に從事の時乾果製造の際硫黄燻蒸を行ふことを實見し、これを乾柿に應用し成功を收め獨りひそかに行ひて之れを廣めることなし、

若人向、紳士向　・嶄新な流行柄豊富・

冬の中折帽子とネクタイ

・特選優秀ソフト ¥2,00
・〃 國産フワー ¥5,50
・セラフイツク帽 ¥6,00

にツルヤ　電一四〇

鼻の諸病に快鼻湯　有効保證

本劑は漢法醫の方劑で鼻病の爲め種々の外用藥並に内服藥を用ひ全治せざる方々及び手術後再發されし方々も本劑の服用により快癒された喜びの禮狀が各地から參つて居ります

効能　蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多過症、頭重、肥厚性鼻炎、その他鼻骨灣曲症、並に中耳炎に神効の賞讃を受く

（快鼻湯）製劑販賣元　水野藥局　磐城平町一丁目（電話六九九番）　振替口座仙台（八八七六番）

磐城名産特賣所

御土産物には郷土の名産が第一

石城みやげ　七濱の生産品　地元産の果實

平みやげ　名菓各種

平町驛前

（磐城共濟病院）福島縣平町電六四一

内科　院長　醫學博士　石山謙郎（電話六四一番）
小兒科　部長　吉手醫學士　平賀一忠
婦人科　副院長　醫學博士　五十嵐雄二（電話三七〇番）
外科耳鼻咽喉科　部長　醫學士　坂本眞一郎
皮膚泌尿器病科花柳病科　部長　醫學士　前澤正（電話二七二番）
X光線科　醫學博士　石山謙郎
物療科　技術員　石山彪
衛生試驗所　獸醫　高後利雄
藥局　藥劑師　吉本孝平
事務長　鈴木寶雄
（毎日午前八時より午後十時迄診療）
◎…病室完備…入院隨意…◎

診療科目
一、齒科一般　保存科、補綴科、繼齒架工科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科、
一、口腔外科
一、レントケン科

院長　日本齒科醫學士　中野恵次
日本齒科醫學士　西川誠
中野齒科醫院
平町田町（松月堂向ひ）電話五〇九番

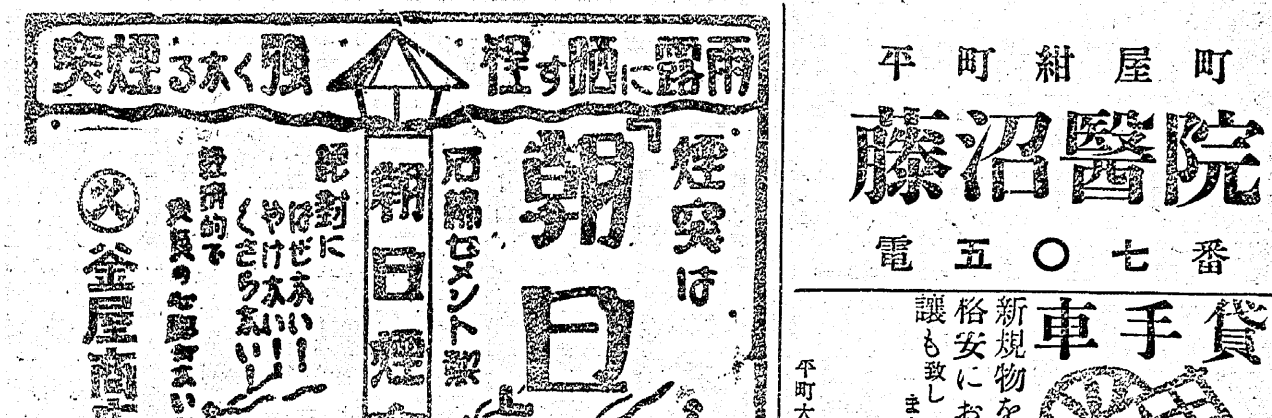
磐城代表銘酒
合
美味經濟
ヤマワル醤油
山崎合名會社　電話十番

東神火災保險株式會社
東京動火災保險株式會社
横濱生命保險株式會社
磐城代理店
河田鐵工場
河田梅吉
營業所　福島縣平町七丁目　電話三二九番　二九五番
本社　東京市日本橋通り三丁目
仙臺支部　仙臺市大町三丁目

新時代の要求
附屬事業に等外看護婦部を特設いたし皆樣の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します
平町南町　電三〇七
平看護婦會　會長　清野キヨ
經濟的な御便宜ご用命をお願致升
御手不足の御家庭輕い御病人の付添姙婦産婦の御家庭

町屋紺町平
院醫沼藤
番七〇五電

貸手車
新規物を格安にお讓も致します
平町大町若松醫院隣
半谷

雨露に晒す程　強くあるは煙突
「朝日」煙突は
石綿セメント製
朝日煙突
絶對にはぜあい！やけあい！くさらあい！
經濟的で衛生的な煙突
金屋商店

マグネトロン
百萬の富より健康
此新療法で病弱を御試しなさい
『治療代』…は當分一回三十錢として居りますが御家庭の事情により割引も施療も致します
嘘か實か百聞一見御試し下さい
治療所　日中は城山聚樂園（電話一〇九）　日沒後は一丁目自宅（電話四七〇）
醫療士　飯田近治